

研究協力をお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

なお、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名： 当院での憩室出血診療の現状

1. 研究対象者および研究対象期間

2020年4月から2022年10月までに、岐阜県総合医療センターで大腸憩室出血と診断した患者様。

2. 研究目的・方法

近年、本邦では大腸憩室の保有率が上昇し、大腸憩室出血を診療する機会が増加している。大腸憩室出血は再発しやすく、大腸切除が必要になる重症例もあり、临床上重要な疾患である。止血方法として、内視鏡を用いたクリップ法やバンド結紮術に加え、カテーテル動脈塞栓術や外科切除なども挙げられる。しかし、止血率や術後再出血率などは十分なものではなく、定まった治療指針はない。岐阜県総合医療センターでは大腸憩室出血を診療する機会が多く、これまで憩室出血の出血点の同定率や止血率・再出血率を向上させるために様々な工夫を行ってきた。当院での憩室出血症例を後方視的に検討し、出血点の同定に関する因子や、止血率・術後再出血率に関する因子について検討したい。

また、症例に応じた適切な止血方法の選択基準について検討したい。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

内視鏡所見、出血点同定率、止血術、止血方法、再出血率、背景疾患、内服歴、造影CTの血管外漏出所見の有無、検査までの期間など

4. 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

岐阜県総合医療センター 消化器内科 小澤 範高

電話番号：058-246-1111